



NEUTERING?

Please!
Of course!
YES!
Sure!



里親が見つからないという理由で、毎年沢山の犬・猫が処分されています。この悲惨な命の犠牲は、出産をセーブすることで容易に減らすことができます。一番の方法は去勢不妊です。それは簡単な手術で、生殖器を取り去る事で繁殖を防止する方法ですが、それについては色々誤った解釈がなされているようです。

去勢不妊 唯一の解決法

—— 有効性と誤った解釈

ワンマリー・マクキハン



不自然で残酷か？

人は、あらゆる方法で産児制限を行うのに、なぜ動物は制限が出来ないのでしょうか。人間の産児制限は、個人が養育できる範囲以上の子どもの誕生を避けるべきであるという、論理に基いていますが、同じことをペットに適用できないはすがありません。現在共に暮らすペットの責任を負いさえすれば、その子孫はどうでもいいのでしょうか？

動物を飼い慣らしてきた過程で、彼らの野生の血を奪い去ったがゆえに、自然の法則を適用することは、もはや出来なくなりました。家庭動物として、犬も猫も自然に、人を必要とするようになりましたが、生まれながらの性質は、子孫存続本能のため失われ、これが放浪、闘争、攻撃、無駄吠え、遠吠えなどその他の好ましくない行動に駆り立てるのです。去勢された動物は、このような本能が取り除かれ、行動に変化が現れます。いつも飼い主の側に居るようになり、大人しく従順な動物になります。それは残酷なことなのでしょうか？

ペットが肥満になるのでは？

去勢すると、交配相手を探したり、家から遠く離れるといった本能が失われ、新陳代謝の割合も低くなります。そのため、去勢後も同じ量のえさを与えた場合、体重が増えることになります。まさに、老犬に子犬と同じ栄養を与えるようなものです。

ホルモン分泌

ペットは、ヒート期間（発情期間）に様々なホルモン分泌を行います。去勢不妊後そのような分泌は永久

に止まり、ホルモンのレベルは通常時期と同じ状態になります。このレベルにおいて、健康上何ら大きな問題はありせん。

性格の変化

去勢不妊は、行動に目立った変化をもたらします。穏やかになり、野生的な部分がいっそう少なくなります。

したがって、多頭飼いの場合は、お互いが順応しやすくなります。また、交配相手を求めてうろつく必要もなく、飼い主とのより深い交流ができるのです。

高額では？

純血種であろうとなかろうと、健康な動物の出産には費用がかかるものです。母犬・母猫が妊娠中、もしくは、分娩中に問題が生じたり、子犬や子猫が健康を害したりしたら、医療費は高額になります。子犬・子猫は、親離れをするまで8週間かかります。それは、2ヶ月間の住居と世話、そして餌代を意味します。反面、去勢不妊はただ一度限りの費用ですみます。

子犬・子猫の里親探しは簡単でしょうか？

飼い主として、過剰出産に拍車をかけますか？それとも、セーブしますか？里親探しは容易ではありません。たとえ上手く行ったとしても、それは里親を待っている他の子たちの可能性を奪い去ると云う事なのです。単に大きな責任が伴うだけでなく、あなたのペットの子一匹の生活する場所と世話、里親さがしを行うことで、他の犬や猫に悲しい運命を決定付けることになるのです。そして、もし、あなた自身のペットの子どもたちの里親を捜すことが出来なければ、どうなるのでしょうか。

去勢不妊の利点

ペットは更に健康になります。事実、不妊手術済みのペットは、未手術のペットに期待する平均的な生活より以上のものを得ることができます。一例として、乳癌、子宮がん、前立腺癌、睪丸腫瘍が発生する確立は大変低く、研究によると最初のヒートが始まる前に不妊を施した雌の乳癌発生率はゼロです。

真中のページを取り外して、去勢不妊の豆知識ブックとして御利用下さい。

